

なごや生きもの一斉調査2016 ～セミの抜け殻編～

私たちにとって、とても身近な存在の「セミ」が、日本には約30種あまりいます。

幼虫時代に長い時間を土の中で過ごし、移動することができないセミは、環境の変化を受けやすい生きものです。名古屋市には、いったいどの種類がどれだけ生息しているのでしょうか。

そこで、なごや生物多様性保全活動協議会と名古屋市みどりの協会で、平成28年8月26日～29日の4日間、市内約30カ所の緑地や公園でセミの抜け殻調査を行いました。

参加者は、まずセミの抜け殻の見分け方等について説明を受け、手分けして調査を開始。高いところは竿で落としたり、届かないところは下から数えて記録。また、木の近くにある1cm程度の穴は、セミの幼虫が羽化する時に出てくる穴で、それを目印に探しました。子どもたちはまるで宝探しのように次から次へとセミの抜け殻を集め、どの種類がどれだけいるかを分別しました。

今回の調査で明らかになった抜け殻の数と種類や分布状況をまとめ、報告する予定です。



中川区で拾われたハリネズミ、その後

2012年6月に中川区で拾われたハリネズミについて「生きものシンフォニー」4号で紹介しました。このハリネズミは日本でもよくペットとして飼育されているヨツユビハリネズミではなく、特定外来生物に指定されているアムールハリネズミではないかと思われましたが、その時点で同定はできませんでした。

その後、名古屋市立大学生物多様性研究センターと共同でミトコンドリアDNAのD-loop領域の解析を行いました。その結果、拾われた個体はアムールハリネズミと同定され、遺伝的にはすでに野外定着している神奈川県小田原市の個体群にきわめて近いことが確認できました。今回、中川区で拾得された個体は、小田原市に定着した個体群から何らかの経路で名古屋市まで移動してきたか、小田原市の個体群と同じ移入元から名古屋市に導入され



中川区で拾われたアムールハリネズミ

山崎川グリーンマップ

山崎川グリーンマップは、2005年、愛・地球博が開催された年に、地元子ども会から誕生しました。その頃は、地域の人のほとんどが、大きくて目につきやすいコイ、ミシシippアカミミガメを山崎川の代表的な生き物ととらえていました。わたしたちは、その目立つ生き物の陰で、在来種が目に見えるスピードで減っていくことに危機感を覚えました。2010年、名古屋で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催される前のことです。その頃の名古屋のほとんどの人たちは、外来種という言葉は知っていても、それが環境にどんな影響を与えるかは理解していませんでした。わたしたちは、2008年より日本カメ自然誌研究会の協力を得て、ミシシippアカミミガメの防除に着手しました。当初は、外来種防除への理解がなかなか得られず、ずいぶん苦労しました。

それと同時に始めたのが、子どもたちによる地域の

お年寄りへの聞き取り調査です。昔はどんな生き物がいたのか、都市化や開発、外来種の影響で何がなくなったのか。それを、せめて記録に残しておきたいと考えました。2009年より始め、2015年3月で活動を終了しました。これを、通じて地域の人たちの気持ちが変わっていききました。子どもたちに、外来種ではなく、昔からこの川にいた生き物を残してあげたいと思ってくださるようになり、わたしたちの活動の応援団に変わってくれたのです。

さて、2014年から浮島型カメ罟を使うようになってからミシシippアカミミガメの防除の効率が格段に上がりました。上中流域では、数が減り低密度になったせいか、2016年は今までに6匹しかとれていません。完全に取尽すのは不可能ですが、低密度の状態を保持できるよう、今後も地道な活動を続けていきたいと思います。

地域の人たちから愛される山崎川。子どもたちが大人になったときも、この川に山崎川本来の生き物が見られることを願い、これからも活動を続けていきます。

2016年3月、聞き取り調査をまとめた総集編を発刊しました。

〈ホームページ〉 [山崎川グリーンマップ](http://www1.m1.mediacat.ne.jp/a-ohya/index.html) 検索 <http://www1.m1.mediacat.ne.jp/a-ohya/index.html>

掲示板

平成29年度 なごや生物多様性保全活動協議会助成金 助成団体募集

なごや生物多様性保全活動協議会では、自然環境保全の後継者育成を目的とする活動や新たに取り組まれる保全活動を支援することで、次世代の担い手づくりやこれからの自然保全活動の創出を応援しています。平成29年1月16日から、平成29年度の助成団体を募集します。助成金交付要綱など、詳しくは協議会のウェブサイトをご覧ください。協議会ウェブサイト <http://www.bdnagoya.jp>

ユース枠が新設されました

今年度から学校の部活動の助成が新設されました。ご応募お待ちしております。

問い合わせ・申し込み先

発行：名古屋市環境局なごや生物多様性センター

住所 〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目230番地 (地下鉄塩釜口駅2番または3番出口から徒歩5分)
電話 052-831-8104 (平日 8:45～17:30) FAX 052-839-1695
E-mail bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

- なごや生物多様性センターウェブサイト <http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/biodiversity>
- 名古屋市公式ウェブサイト <http://www.city.nagoya.jp/> [なごや生物多様性センター](#) 検索
- なごや生物多様性保全活動協議会 <http://www.bdnagoya.jp>



生きものシンフォニーのバックナンバーは、なごや生物多様性センターのウェブサイトでご覧いただけます。

生きものシンフォニー

なごや生物多様性センター

いのちかがやくなごや

平成28年12月 20号

特集 第3回 なごや生物多様性センターまつり

感じよう!いのちのつながり

同時開催 生物多様性ユースひろば

晴天に恵まれた10月30日(日)、第3回なごや生物多様性センターまつりが開催されました。当日は、子どもから大人まで約2,700人が来場。生きものとの触れ合いや各種展示、クラフトづくりなどをとおして「いのちのつながり」を体感していただきました。また、昨年に引き続き、生物多様性ユースひろばや、ステージ企画も開催され、生きものたちを身近に感じながら、交流を深めていただきました。



CONTENTS

- 特集 第3回 なごや生物多様性センターまつり……………P1～4
- 同時開催 生物多様性ユースひろば……………P1～4

- TOPICS なごや生きもの一斉調査2016 ～セミの抜け殻編～……………P5
- 活動紹介 山崎川グリーンマップ……………P6
- 掲示板 平成29年度 なごや生物多様性保全活動協議会助成金 助成団体募集……………P6

第3回 なごや生物多様性センターまつり

感じよう!いのちのつながり

不思議と驚きがいっぱいの生きものや自然の世界。たくさんのブースを見て回って、体験しながら生きものたちとのつながりを感じていただきました。ブースを回ってシールを集めると景品がもらえる「生きものシールラリー」も開催!

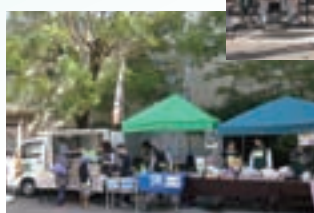
「田んぼ、川の生きもの調べ」
「段ボール生ごみコンポスト」
活動紹介と秋の無農薬野菜の販売
NPO法人日進野菜塾



外来種ブラックバスの試食コーナー
なごや生物多様性保全活動協議会

吹奏楽ライブ

演奏: 御幸山中学校吹奏楽部



秋空に美しい音色が響き渡ったよ



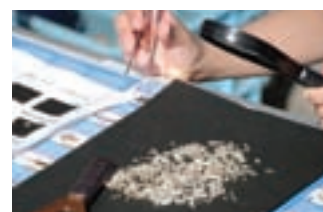
みんなでやろまい!なごやの森づくり
なごやの森づくりパートナーシップ連絡会



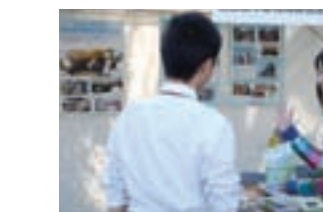
生きものを守る
里山保全の取り組みと巣箱づくり
相生山緑地オアシスの森くらぶ



マメナシのある風景
愛知守山自然の会



チリモンンスターをさがせ!
山崎川グリーンマップ、
「あいちの海」グリーンマップ



レジ袋を削減して生きものを守ろう!
容器・包装3R推進実行委員会 /
名古屋市環境局減量推進室



お絵かき収集車
名古屋市天白環境事業所



淡水生物を味わう!~美味しいのは
アユとウナギだけじゃないぞ!~
三河淡水生物ネットワーク



生物多様性の宝庫 藤前干潟
NPO法人藤前干潟を守る会



クモから生きる知恵と戦略を
学びたい!!
中部蜘蛛懇談会



あなたの暮らし×生物多様性・
フェアトレード
名古屋市環境局環境活動推進課



倶楽部紹介と猪高の竹を使った
竹クラフト
名東自然倶楽部



「おいしいウナギの話」パネル展
碧南海浜水族館



飼う前に考えて
名古屋市動物愛護センター



外来種ってなに?
動物バスルにチャレンジしよう!
なごや生物多様性センター



昆虫標本の展示と活動紹介
名古屋昆虫同好会



パネル展示
「なごやの希少な生きものたち」
なごや生物多様性センター



いろんな「見かた」で多様性を
感じよう!
(株)地域環境計画



いっしょにはじめよう 太陽光・
太陽熱で地球にやさしい暮らし
名古屋市環境局環境企画課



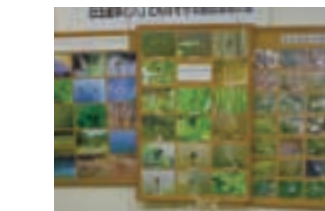
過去から未来へ~東山動物園で
考える動植物とのつながり~
名古屋市東山動物園



生物多様性に繋がる?
Coolなエコを選ぼう!
環境省中部地方環境事務所



なごやのサンショウウオ。
都市開発のもと生き残れるか?
名古屋市立大学附属生物多様性研究センター



天白区の生きものたち
白玉星草と八丁トンボを守る島田湿地の会



生きものの世界へようこそ
日本カメ自然誌研究会、
なごや生物多様性保全活動協議会、
なごや生物多様性センター
名城大学野生動物生態研究会



あいち生物多様性戦略2020
生態系ネットワーク形成の取組
愛知県



ウミガメからのメッセージ
~名古屋港水族館の取り組み~
名古屋港水族館



体験しよう!水質モニタリング
名古屋市環境局地域環境対策課



年輪とは?紙芝居「竹のふしぎ」他も!
(特非)なごや東山の森づくりの会



エコバルなごやワークショップ及び
なごや環境大学の紹介
名古屋市環境学習センター /
「なごや環境大学」実行委員会



愛岐の森の里山づくり
名古屋市愛岐分場



「もったいない」を「ありがとう」に!
ご家庭にある消費しない食品を
お持ちください!
名古屋市環境局資源化推進室

【ステージ企画】

なごや生きものトーク!

カメの話題を中心に、なごやの生きもの事情について語り合いました。
出演: なごや生物多様性センター長 矢部 隆
生物多様性専門員 野呂達哉



オーストラリア ジロンク市派遣中学生 による発表

ドキドキの発表!学習してきたことをしっかりと伝え、来場者は聞き入っていました。



水辺の生きものふれあい展示

海の生きものふれあいタッチプール



微小な生きものの観察
名古屋市環境科学調査センター



釣って分けよう!分別ゲーム
名古屋市環境局作業課



淡水生物を味わう!~美味しいのは
アユとウナギだけじゃないぞ!~
三河淡水生物ネットワーク



生物多様性の宝庫 藤前干潟
NPO法人藤前干潟を守る会



アメリカザリガニ駆除実験パネル
なごや外来種を考える会(なごらい)



名古屋城外堀ヒメボタルのキラメキ
名古屋城外堀ヒメボタルを受け継ぐ者たち



昆虫標本の展示と活動紹介
名古屋昆虫同好会



パネル展示
「なごやの希少な生きものたち」
なごや生物多様性センター



生きものの世界へようこそ
日本カメ自然誌研究会、
なごや生物多様性保全活動協議会、
なごや生物多様性センター
名城大学野生動物生態研究会



あいち生物多様性戦略2020
生態系ネットワーク形成の取組
愛知県

〈運営協力〉

- 生きものや標本の展示補助 名古屋コミュニケーションアート専門学校
- 運営ボランティア 名城大学ボランティア協議会

動物取組の表示:
株式会社青空 愛知県新城市一畑田中44番1 / 展示: 動東第407号 / H27.2.9~H32.2.8 / 取組責任者 竹内勝貴

同時開催

生物多様性ユースひろば

中学・高校の生物部などの生徒たちが、日頃の活動成果を紹介しました。各校とも、訪れる人に研究内容を丁寧に説明したり、「今後はこういうことに挑みたい!」と課題を熱く語る姿が随所に見られ、子どもから大人までじっくりと耳を傾けていました。また、ステージでのPR発表では、各校工夫を凝らして来場者にPRしていました。



ステージでは、各校の生徒が、自分たちのブースをPR!



ステージの上は、ちょっと緊張…。

名古屋大谷高等学校 化学部



山崎川の水质調査結果や、カプトムシ・クワカダムシの樹脂標本などを展示しました。標本に夢中な子どもたちも。

名城大学附属高等学校 自然科学部



昆虫班・骨班に分かれ、透明標本や白骨、飼育中の生きものを展示。庄内川の生態調査結果も熱心に説明していました。

名古屋南高等学校 生物・化学部



身近でよく見られるアダンソンハエトリグモの展示や研究内容を紹介。クモクイズでは、楽しく学ぶ親子もいっぱい!

東海中学校・高等学校 生物部



蝶・蛾の標本から、トビハゼなど魚も展示。魚の絵と、それぞれの特徴を説明している姿が印象的でした。

名古屋経済大学高蔵中学校・高等学校 理科部



山崎川の清掃ボランティアや、生物調査などさまざまな活動を実施。今後も生態系を守るために調査を続けていきます。

東邦高等学校 科学部



矢田川で釣った魚を透明標本にする「オリジナルレシビ」を開発。矢田川マップを作成し、ゴミや外来種などの問題点にも着目しました。

向陽高等学校 科学部



ミドリムシやアリの行動、プラナリアなど、幅広い研究内容や実験結果などを紹介。訪れる人も真剣に聞き入っていました。

瑞陵高等学校 生物部



泥で動く時計にみんな「すごい」と感心!! 泥で電気を生み出す微生物燃料電池について丁寧に話してくれました。

木曾川高等学校 総合実務部



天然記念物・イタセンバラを守ろうと様々な情報を発信!!アンケート調査を行うなど、広報活動にも力を入れています。

天白高等学校 自然科学部



市内に残る自然を対象に調査しています。生きもの展示や、スクリーンでの活動紹介もありました。

名東高等学校 国際英語科



ゼミ活動や留学、国際交流などを通して、フェアトレードについて学んだこと・感じたことをまとめました。



高校生×活動団体 交流企画
ステージで4校の生徒たちが、気になったブースの方を紹介し、交流しました。